

劇団四季の オペラ座の怪人 は凄いらしい。

妖しい調べが支配する、そこは愛の迷宮。

ミュージカル オペラ座の怪人

フントムオブジヤベラ
作曲=アンドリュース・ロバート・ウェバー 作詞=チャールズ・ハート 追補詞=リチャード・スタイルゴ
台本=リチャード・スタイルゴ/アンドリュース・ロバート・ウェバー 演出=ハロルド・プリンス
振付=ジリアン・リン 美術=マリヤ・ゼンシツ 照明=アンドリュース・ブリッジ 音響=マーチン・レーマン 音楽監督=デヴィッド・カディック
オーケストラ・ディレクション=デヴィッド・カディック/アンドリュース・ロバート・ウェバー 日本語台本=浅利慶太 翻訳=定家祥介 オリジナル全曲=浅利慶太
by arrangement with The Really Useful Group Limited

キャナルシティ劇場

劇団四季

2025年

2026年

9月15日-4月5日

期間限定公演

21年の時を経て、
パリ・オペラ座が福岡に蘇る!

ミュージカル史上に燦然と輝く名作。 21年ぶりの開幕が、福岡を熱くする。

ミュージカル史上に燦然と輝く『オペラ座の怪人』が福岡へ!

1996年に福岡シティ劇場(現・キャナルシティ劇場)のこけら落としとして上演された名作。

今回はなんと21年ぶりの開幕です。

また数多くお寄せいただいていた福岡でのロングステイ公演へのご要望にも、

幸い条件が整い、お応えできることになりました。

荘厳なパイプオルガンの響きに導かれ、鮮やかに蘇る19世紀のバリ、豪華絢爛たるオペラ座。

細部まで当時を再現した衣裳や装置、驚愕の仕掛け、そして作曲家ロイド・ウェバー屈指の名曲が、

ときに妖しく、ときに激しく、切ない愛の物語を描き出します。

長い時を経て磨かれた極上のひとときをご堪能ください。

期間限定公演につき、どうぞお見逃しなく!



DESIGNED BY MARIA BJÖRNSON
(写真はこれまでの公演より)



STORY

19世紀、パリ。誰にも愛されず、オペラ座の地下に身を潜めた怪人。彼は歌姫クリスティーンに心奪われ、彼女をプリマ・ドンナにしようとあらゆる手を尽くしますが、彼女が幼なじみの子爵ラウルから求愛されるのを見て嫉妬に狂います。やがてオペラ座では身を震わせるような事件が次々と...

詳しくは



絢爛と、妖しく、 迷宮にいざなう装置

そこはまさに19世紀のバリ・オペラ座。3万4千個のクリスタルが輝く巨大なシャンデリア、地底の水路に揺めく無数のキャンドル。驚愕の仕掛けも必見です。

目も心も虜にする、 贅を極めた衣裳

200着以上の豪華な衣裳も見どころのひとつ。ヨーロッパの本格的な伝統衣裳を再現したもので、全員が仮面姿で宴に集結する「マスカレード」の場面は圧巻です。

甘美に、激しく。

心を揺さぶり続ける音楽

『キャッツ』『エビータ』など、ミュージカル史上に残る名作を生み出したアンドリュー・ロイド・ウェバーの珠玉の旋律が、甘く、激しく、陶酔の極みへと誘います。

——いち早く、より安く。—— 「四季の会」会員募集中!

「四季の会」エリアコースにご入会いただくと『オペラ座の怪人』が

特典1 早く買える!

特典2 おトクに買える!

特典3 もっと面白くなる!

ご入会はこちら▶



ただいま、団体観劇でのご予約を承っております。

- 学校の芸術鑑賞・校外学習・修学旅行・周年行事に。
 - 職場・組合での福利厚生活動のレクリエーション企画に。
- さまざまな企画でご好評いただいております。

グループ観劇お問い合わせ・資料ダウンロードはこちら▶



キャナルシティ劇場

〒812-0018

福岡市博多区住吉1-2-1 キャナルシティ博多ノースビル 4F

- JR「博多駅」より徒歩約10分
- 地下鉄空港線「祇園駅」より徒歩約7分
- 地下鉄空港線「中洲川端駅」より徒歩約10分
- 地下鉄七隈線「天神南駅」より徒歩約15分
- 地下鉄七隈線「櫛田神社前駅」1番出口より徒歩約3分
- 西鉄バス「キャナルシティ博多前」下車すぐ